

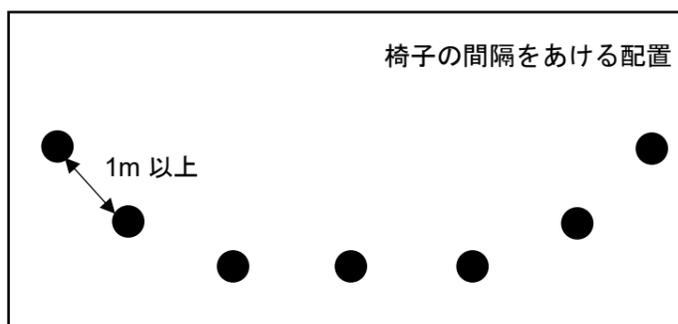
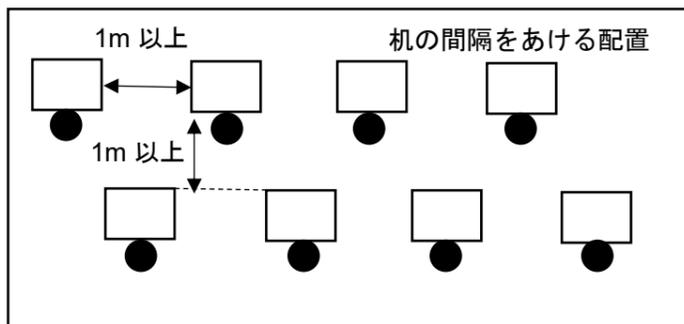
学校再開後の場面ごとの対策 【特別支援学校版】

登下校時

- 家庭での検温・健康観察等を徹底させ、マスクを着用させる
- 登下校は、校門や昇降口等での密集が起こらないよう、時間帯等を分散させる
- 時差通学や分散登校の活用（分散登校については「授業時」を参考）
 - ・当面の間、公共交通機関を利用する児童生徒の多い学校において、通勤時間帯を避けた登校時間について検討する。
 - ・家庭、地域、関係機関（警察等）との連携・協力による登下校指導や、交通安全指導の実施を検討する。
 - ・スクールバスの座席配置を工夫する。
 - ・スクールバス乗車前にはあらためて健康観察を行う。
 - ・運行業者にスクールバス運行前の車内消毒の徹底を依頼する。
 - ・運行業者に安全を確保した上でスクールバス内の窓を開け、換気を行うよう依頼する。
- 公共交通機関を利用する際の留意点
 - ・特にマスクの着用を徹底し、近距離での会話を控えさせる。
- 登下校後は、顔をできるだけ触らずに、速やかに手を洗わせる

授業時

- 始業前や授業開始時に健康観察を実施する
- 分散登校の工夫
 - ・登校する日数に応じて、児童生徒の数になるべく均等になるように工夫する。
- 教室での身体的距離の確保
 - ・下の図を参考に、1 m 以上の間隔をあけるよう座席配置を工夫して行う。



- こまめな換気
 - ・可能な限り、2方向の窓を開放する。
- 教員・児童生徒は、障害の状況に応じて可能な限りマスクを着用する
- 共用の教材、教具、情報機器などを適切に消毒し、使用する前後で手洗いを徹底させる
- 各教科等において単元の内容や順序を一部変更して行うなど工夫する

昼食時

- 給食時の感染予防の徹底
 - ・給食室で一堂に食事をすることは避け、教室等で食事をする。
 - ・座席は対面にならないよう配置を工夫する。
 - ・教員による配膳を行う。
 - ・可能な限り会話を控えるよう指導する。
 - ・食事前後の手洗い指導を徹底させる。

休み時間・放課後

- 教室や廊下等の窓を開放し、十分な換気を行う
- 必要のない他の教室や他学年のフロアには行かせない
- 外から教室に入るときやトイレの後などに手洗いをさせる
- 清掃は、短時間で終了できるように工夫する
- 当面の間、部活動は実施せず、放課後は速やかに下校させ、寄り道をせず帰宅させる

特別支援学校においては、障害の状況や各学校の実情を踏まえて対応する